

令和8年・2026年

本年も宜しくお願い致します。

大国の工ゴと宗教・民族自決が絡み、戦火の絶えない日々が続いています。一日も早く戦火の絶える日が訪れる事を祈願します。

また、世界のめぐまれない子供たちの健康を向上させ明るい希望が持てますよう、ユニセフ(国際連合児童基金)に今年も支援を続ける予定です。



保存する会代表  
渡辺哲国



2026  
今年もよろしくお願ひします！



瀬戸地下  
軍需工場  
跡を保存  
する会

会報

NO.189

2026 年

1 月 5 日

瀬戸市追分町64-1

瀬戸市職労組 事務所

0561-84-4760

fax 84-4767

郵便振替口座番号

00820-9-105120

連絡先

事務局

寺脇

0572-23-5899

fax 同上

携帯

090-6575-4370

Eメール

tera-m@ob.aitai.ne.jp



12月13日、一月に行われる現地見学会に向けて現地整備(草刈り・ゴミ拾い)を行いました。  
(事務局)



瀬戸市

ありがとう

ございました！

2026年度

会費およびカンパを頂いた方

加藤敏晴・典子さん	上川通夫さん	長崎正夫さん	水野高至さん	横山文代さん	三宅訓子さん	栄木房子さん	川手真理子さん	宇佐見美智代さん	加藤昭子さん	増田孝喜さん	原町子さん	甲斐知子さん	須田雅子さん	羽根田正之さん	大西義幸さん	匿名kさん	高橋満治さん	鈴木泰宏さん	木戸泰幸さん	荒木庄平さん	伊澤智さん	原田千育さん	戸田孔成さん	泰原和雄さん	加藤規江さん
2000円	1500円	500円	300円	500円	400円	1200円	2000円	2000円	1000円	2000円	1000円	2000円	2000円	2000円	2000円	2000円	2000円	1000円	3000円	1000円	2000円	3000円	3000円	2000円	1000円





## 愛航会

愛航会は愛知航空機の開発、技術部門のOB会で2006年まで活動していました。愛航会のアルバムをみると、私が初めて参加したのが、93年4月21日でした。当初の参加目的はアツタ発動機と「晴嵐」の資料入手でしたが、会員との親睦が進み、世話を引き受けるようになりました。あれから30年以上、「光陰矢の如し」を実感します。アルバムを見ると、会で訪れた、蒲郡、長良川、蟹・甲羅本店、金山三十三間堂、三菱資料室（零戦、秋水）、愛知機械工業、他（ホテル、レストラン、居酒屋）の写真が残っています。最盛期の参加者は30名弱、戦禍を潜り抜けて来た老兵の顔が輝いています。



各務ヶ原航空宇宙博物館 98年4月8日  
この日は自衛隊の飛行開発実験団も見学



愛航会入会時の親睦会(93年4月21日)



三菱重工小牧工場史料室  
00年10月27日



05年3月17日の親睦会  
後列左端の人物は伊401号潜水艦の晴嵐パイロットであつた浅村元大尉

## 事務局員のことば②

### 戦後80年昭和100年「保存する会35年」の年が過ぎました。

事務局長 寺脇正治

2026年の初頭にあたり、本年への思いをつづりたいと思います。

昨年、記念すべき戦後80年の年に、会の活動にその痕跡を残せたのか私にははなはだ疑問が残りますが、時間は「だれが」「何をしようが、しまいが」ただただ、悠久の彼方へ自動的に進んでいきます。

私は国の政治にとって一番重要なことは「国民の生命・安全」を確保することだと思つています。あの戦争の時代は、それは「国の体制（天皇制維持）」のためにまったく顧みられず、国のために国民が最大の犠牲になった時代でした。考えてみれば国家という体制がどうなるうとも、自然や人間は生き続けるものであり、国家があるから人間があるというのはまったく真逆の考えであることは自明のことです。人間がいるから社会があり、国家が存在するのだということが、あの戦争の時代にはまったく忘れ去られていたのです。

敗戦が確定したとき、当時の為政者たちが国民を最大限に犠牲にしておきながら、本当に自分たちの責任を全うしたのか、はなはだ疑問です。

例えば軍人たちが、自決によって責任をとうろうとしたと思われませんが、私には、た

だ「屈辱に耐えられなかった」だけに思えるのです。日本国民に対して責任をとうろうとしたリーダーがいたのでしょうか？

敗戦の原因を国民や軍隊の力不足・意思の弱さに希求し、正しい情報や科学的な根拠などを土返して精神論だけに走るこの上もないパワハラ体質。それこそが島国日本国の本質なのだと思います。

敗戦時の日本の最大の過ちは、戦争を推進し国民を犠牲にしたリーダーたちの責任を日本国民がきちんと追及しなかったことだと思います。

だからこそ、いまだにA級戦犯たちを「英雄・犠牲者」とみる風潮が根強く残っているのです。

戦後80年が過ぎ、日本の力がどんどん落ちていく時代にあつても、あの戦争を美化し、「世界の中心で輝く」とか威勢の良い甘い言葉を出すリーダーたちが後を絶ちません。アジアの隣国には「えらそうに」する代わりの欧米諸国には「媚びを売る」。明治維新のころの「脱亜入欧」の精神とまったく変わりがありません。しかし、今の時代大きく変わったことがあります。それは人口が減り、国家の力がどんどん落ちていくということです。それを補うために為政者たちは軍拡にその望みを託そうとしていますが、果たして「力Ⅱ軍事力」によって他国は日本を尊重してくれるのでしょうか？隣国にそのような核に頼る国もありますが、国民が平和に暮らせる豊かな国になつたのでしょうか？

ここ何年と円安がつづき、株価が上がり続けていますが、私たち庶民には、まったく恩恵が得られないどころか、海外からの旅行者は増え、それがまた物価高を呼ぶのに、海外旅行にはとても行けない状態です。兵器購入には簡単に何十兆と金を出すのに、教育や医療など国民生活には「財源がない」などと簡単にあしらう。

国民があきらめると「あの時代」にまた一歩近づいていくように感じます。

あの戦争の時代のことは80年が過ぎていまだに新しく日の目を見ることがあります。

その一つの例が昨年、会員でもある山田富久さんが岐阜県の各務ヶ原で発見された大規模な地下施設です。大戦末期、陸軍が掘った地下壕です。関連するものが奈良県にもあり、それぞれが飛行場の近くにありますが、詳細はほとんど分かっていません。

敗戦時日本国のリーダーたちはその責任を回避するために証拠隠滅を企てました。そのために戦争の実相を追求するために私たちは米軍の資料に頼っているのが現状です。

国民に対する責任といえ、空襲被害者に対する補償もまったく進んでいません。私たちは自分たちが知りえる方法で戦争の実相を掘り起こし、記録・発信することとで平和を希求し続けていきたいと思えます。

以上



## 事務局員のこぼれ③

年末の行事(保存する会地下工場  
の草刈り十忘年会)

毎日忙しい中、2025年12月13日

加藤徹

午前中に(瀬戸地下軍需工場跡地の草刈り  
+木切り+ごみ拾い)を行いました。参加  
者は、私を含め、5名でした。小枝の伐採  
は小さなこぎりで簡単切れることは出  
来ましたが、松など太い木の切断には、時  
間と労力がかかりました。ゴミ拾いは、毎  
回おこなっていますが、相変わらず多く、  
プラスチックゴミは風雨でも腐らない  
(時々近くの人が犬を連れて散歩するく  
らい)で普段は人通りも少なく山道のため  
ビニール袋にペットボトル4本)集めるこ  
とができました。ペットボトルには雨水が  
入っていたため、雨水をあけてから集めま  
した。

同日、午後6時すぎから菱野団地入口の  
台湾中華料理店(瀬戸錦繡キンシユウ)で、  
10分程度打ち合わせをしました。午前  
中の肉体労働もあってか、冷えたビールは  
体にスツとはいつていきます。うちあわせ  
の後、会長の渡辺さんを含め、6名で生ビ  
ールで乾杯したあと渡辺さんを囲み懇談  
をしました。ナマビール+2品で2000  
円は安いね!

毎年行っている「現地見学会1月25日  
(日)の午後+春の戦績めぐりツアー名古  
屋市内3月29日(日)を予定しています。  
お待ちしております。

以上

## 旧国家総動員関係死亡者名簿(愛知県)①

日朝協会の小出裕さんが平成27年度(2015年)に国立公文書館で旧国家総動員関係死亡者名簿(愛知県)コピーされました。死亡者数は概数でのべ8228名分にのぼります。A~Kまでの11分冊(右下写真)で、3年前の2023年の12月に小出さんからお借りし、デジカメでコピーさせていただきました。それをエクセルに入力する作業を行っており、昨年は愛知大学の榎村先生の方で23名の学生さんに、2500名分の氏名、住所の入力作業を行っていただきました。2025年末のデータ入力の進捗状況を下



2025/12/31 14:33 総合計 8228  
達成率

	名前	完全	名前:完全	人数	名前完了	全体完了
A	100.0%	100.0%	100.0%	273	273	273
B	100.0%	100.0%	100.0%	817	817	817
C	100.0%	99.4%	99.4%	988	988	982
D	101.3%	65.1%	64.3%	599	607	390
E	84.5%	4.0%	4.7%	907	766	36
F	90.9%	90.9%	100.0%	429	390	390
G	85.2%	7.9%	9.3%	849	723	67
H	57.9%	57.9%	100.0%	802	464	464
I	1.5%	0.0%	0.0%	134	2	0
J	66.1%	65.1%	98.4%	2147	1420	1397
K	74.2%	69.6%	93.8%	283	210	197
	80.9%	60.9%	75.3%	8228	6660	5013

あと 1568 3215 人

の表に現しました。2025年末A~Cまでは入力作業が完了しましたが、全体的には氏名、住所の入力がほぼ80パーセント、すべての項目の入力は61パーセントです。残り氏名・住所入力で1568名分すべての項目入力で3215名分が残っています。あと2・3か月はかかると思われます。会報で進捗状況と興味深い内容があれば、お伝えしたいと思います。(寺脇)



# 米国国立公文書館所蔵の報告書にあった東海地方の戦闘の記録

## \* 各務原防空隊 P51 戦闘機を撃墜

米国国立公文書館所蔵の行方不明搭乗員報告書から 1945 年 7 月 20 日各務原において

硫黄島から攻撃に來た P51 戦闘機が被弾して遠州灘に墜落した案件が見つかりました。(福手)

各務ヶ原在住の福手さんより  
米国公文書館所蔵の報告書の中より  
東海地方に関する事例を見つ  
けられたということと掲載させて  
いただきます。  
自国の兵に対して理不尽極ま  
りない命令を出して亡くなつても  
何の記録も残さない日本軍に対  
してできる限りの科学的な記  
録を残し広く世界に発信する米  
国の姿勢(現代は?)には見習うべ  
き点が多いです。  
福手さんありがとうございます  
(寺脇)

**SECRET**  
531ST FIGHTER SQUADRON, AAF  
(REPORTING HEADQUARTERS)  
APO # 86

AAFP0A-SG-PB302  
REPORT NO. 3

Classification changed  
to **RESTRICTED**  
by E. A. BRADNAS, Lt. Col., AG  
By WM. L. THOMAS, Lt. AG  
Date 4X8 1 1946

**MISSING AIR CREW REPORT**

IMPORTANT: This report will be compiled in triplicate by each Army Air Forces organization within 48 hours of the time an air crew member is officially reported missing.

1. ORGANIZATION: Location, by Name Iwo Jima Command or Air Force VII Ftr Cmd  
Group 21st Ftr Gp; Squadron 531st Ftr Sq. Detachment None

2. SPECIFY: Place of Departure Iwo Jima; Course 3390M  
Target or Intended Destination Magoya Area, Japan Type of Mission Long Overwater, Combat.

3. WEATHER CONDITIONS AND VISIBILITY AT TIME OF CRASH OR WHEN LAST REPORTED  
Heavy Scattered Clouds

4. GIVE: (a) Day 20 Month July Year 1945 Time 1310; and Location 34°30'N,  
137°40'E of last known whereabouts of missing aircraft,  
(b) Specify whether aircraft was last sighted ( ); Last contacted by  
radio ( ); Forced down (x); Seen to Crash ( ); or Information not Avail-  
able ( )

5. AIRCRAFT WAS LOST, OR IS BELIEVED TO HAVE BEEN LOST, AS A RESULT OF:  
(Check only one) Enemy Aircraft ( ); Enemy anti-aircraft ( ); Other  
Circumstances as Follows: Unknown

6. AIRCRAFT: Type, Model and Series P-51D-20; AAF Serial Number 44-63948

7. NICKNAME OF AIRCRAFT, if any Boneyard Express

8. ENGINES: Type, Model and Series V-1650-7; AAF Serial Number V-329486  
Number (a) ; (b) ; (c) ; (d)

9. INSTALLED WEAPONS (Furnished below Make, Type and Serial Number).

米国国立公文書館が所蔵する行方不明搭乗員報告書

硫黄島 第7戦闘機集団第21戦闘機群第531戦闘飛行隊

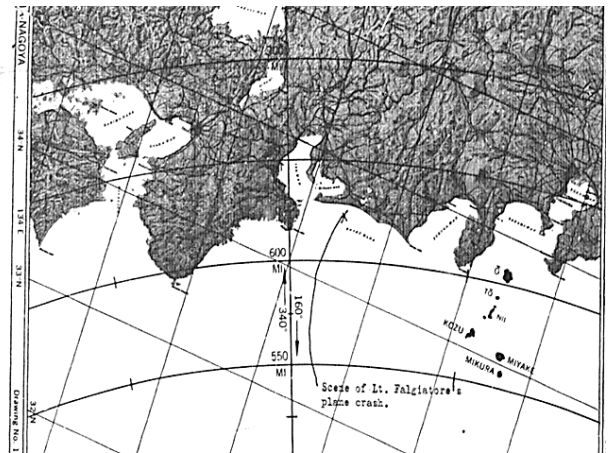
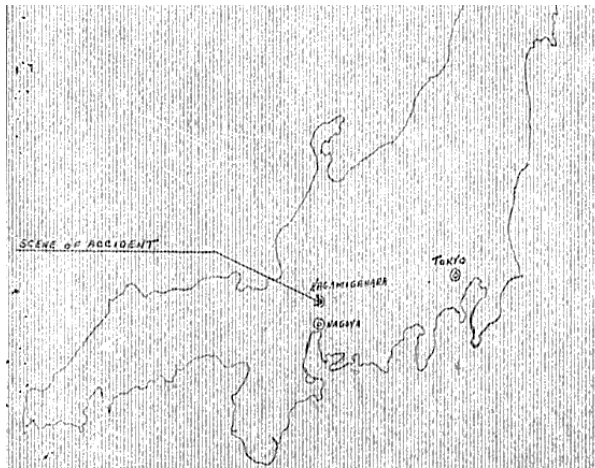
攻撃地区 日本本土名古屋エリア

パイロット ファルジアトーレ・A・トーマス中尉

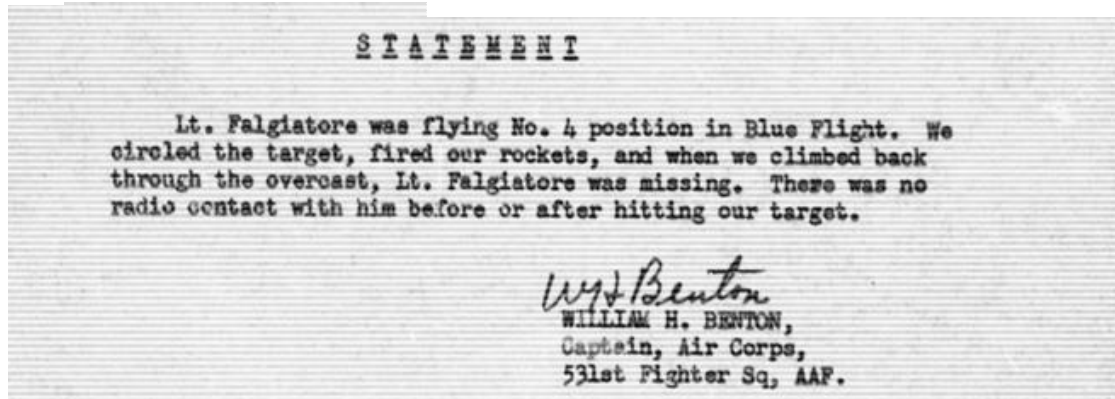
4. 番項目、 1945 年 7 月 20 日 12 時 10 分 (日本時間) 墜落地点 北緯 34° 30' 東経 137° 40' P51 戦闘機 D 型 Forced down 墜落と記載されています。



不測の事態が各務ヶ原で起きたと記載されています。



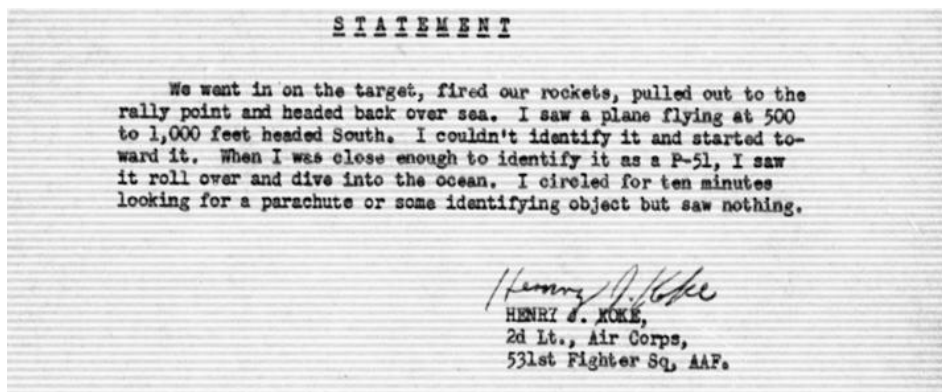
墜落地点は渥美半島沖の遠州灘と記載されています。パイロットは救助艦艇の待機地点に急いでいたと思われます。



○第 531 戦闘飛行隊 ウィリアム・H・ベントン飛行隊長の報告書

ファルジアトール中尉はブルー飛行隊の 4 番機で飛行していました。

目標を旋回してロケット弾を発射し、雲の中を上昇して戻ったときファルジアトール中尉の姿は有りませんでした。目標への攻撃前も攻撃後も、彼との無線連絡はありませんでした。



○第 531 戦闘飛行隊 ヘンリー・J・コーク少尉の報告書

私たちは目標に突入し、ロケット弾を発射し、集合地点まで撤退して海上に戻りました。南に向かって 150m~300m の高度で飛行する飛行機が見えました。識別できなかったので、その飛行機に向かって飛び始めました。P51 戦闘機だと識別できるほど近づいたとき、飛行機が横転して海に突入するのが見えました。パラシュートか何か識別できる物体を捜して 10 分間旋回しましたが、何も見つかりませんでした。

こちらの情報は米国国立公文書館所蔵文書で公開されたものを使用しました。

情報は私の調査に協力して頂いている米国人ヒストリアンによるものです。

各務原市空襲資料室調査員 福手一義・松尾朋和(郷土史家)

# 聖霊高校生 原水禁 世界大会 参加報告①

25年11月4日  
文化センターで原水禁世界大会に出席した5名の高校生の報告を掲載します。



聖霊高校1年のKです。今日はよろしく願います。

私は今回、広島を訪れ、原爆や戦争について新ためて考える機会を持ちました。正直に言う私のような若い世代にとって原爆や戦争のあった昔の広島は知らない世界です。80年前の出来事は歴史の教科書や映像、資料館で知ることができて自分分の生活の中で実感しにくいものでした。けれど昨年の10月にニュースでノーベル平和賞で被団協の存在を知りました。今年の七月五日、私は被爆された方々と実際にお会いする機会をいただきました。そのときに皆さんの思いをしっかりと受け止め広島へ向かうことを決意しました。

2025年八月六日、慰霊祭に参加し愛知県代表として参加させていただくことができました。私は今回で3回目の広島訪問でした。はじめて訪れたのは小学生の家族で行き原爆ドームを見て怖いと思った記憶があります。8時15分に止まった時計、びりびりになってしまった服、一瞬になって燃えてしまったものなどを見て、そのときはただ怖いと感じていました。2回目は先ほど福山先生がおっしゃったように中学生の時の修学旅行です。そのときはガイドの方の話を聞き、資料館を探索しました。そのたびに知らなかったことが増えて行きました。リトルボーイという核兵器一つを落とされて約14万人の方々が亡くなられました。今は美しく流れている元野洲川にご遺体や火傷を負った方々が

あふれていたことをとても恐ろしく感じました。

そして今年の8月6日、再び広島を訪れ多くの証言や展示を通して学んだことは原爆の恐ろしさと人間が生きることの強さでした。日本は唯一の被爆国。原爆の恐ろしさを知っているたった一つの国だからこそ世界に伝えていかなければならないと感じました。こんなことが二度とあってはならないと思いました。今、私は戦争を体験していません。ですが原爆で命を奪われた方々や苦しみながらも生きぬいてきた方々の声を聴くことで知らないはずの世界が、少しずつ自分の中に入ってきたようにも思います。そしてその知らない世界を私たちが学び、伝えていくことで次の世代に平和をつなげていくことができると思います。

広島は原爆ドームは今の当時のまま残されています。それは過去をただ思い出すだけでなく未来を考えるための問いかけだと感じました。平和は当たり前ではなく、多くの犠牲の上に築かれたものです。だからこそ、私たち若い世代が知ろうとし続けることが大切だと思います。終戦から80年。戦争を直接知る人が少なくなる中、私たちが学び語り継ぐ責任があります。私は広島で学んだことを忘れず、自分から行動し平和を守るためにできることを考えていきたいと思いました。

ご清聴ありがとうございました。

(次号へ)



## 原誠市議

# 瀬戸市議会で戦争遺跡について質問！



熱田空襲の遺跡を守る有志の会の方と視察



原 誠 議員

12月4日、瀬戸市議会本会議において原誠議員（共産党市議団）が戦争遺跡保存について市の調査状況と保存・伝承についての死の見解を質問しました。原議員は事前（11月13日）に現場を視察しておられます。議会の動画から文字お越しをしました。（寺脇）

### 〈原誠議員〉

日本共産党の原誠でございます。通告に基づきまして一般質問を始めさせていただきます。

本市における戦争遺跡について質問趣旨です。今年には戦後80年であります。戦争体験者の高齢化が進み悲惨な体験をいかに後世に継承していくかが喫緊の課題となっております。その中で戦争遺跡を史跡や文化財として保存し、平和のために戦争を語り継ぐ活動に生かすことも重要であります。戦争遺跡は主に1894年開戦の日清戦争前後から1945年のアジア太平洋戦争終結の頃までの旧日本軍の司令部跡や壕などの軍事施設や軍需工場の跡、戦争で被害を受けた建物などを指して、日本国内に訳3万か所あると言われております。戦争遺跡保存全国ネットワークなど各地の平和や歴史教育に係る団体の保存を求める運動が広まっておりますが、国と地方自治体によって保護されているのは約200か所、継承のあやまりや建物の老朽化によって姿を消してしまうものも少なくなく、遺品の散逸も心配されております。戦争遺跡は本市にも存在するものであり、地域の残る戦争の傷跡を留め戦争を繰り返さないための財産にしていく取り組みが大切であると考え質問をさせていただきます。はじめに中項目①

本市における戦争遺跡の現状と認識についてうかがいます。

小項目の1、

愛知県では県内の戦争遺跡について、適切な保存、継承に向け適切な対応を検討していくための基礎調査を市町村の協力のもと2023年11月から2024年2月まで実施をしました。この調査は本市ではどのように行われたかがいます。

### 〈経済文化部長〉

基礎調査につきましては愛知県が県史編纂事業において独自に調査をした戦争遺跡リストをもとに県下市町村に対して照会がなされまして本市で把握している現状について回答をしております。

### 〈原誠議員〉

照会があったということですが、小項目の2、2006年に刊行されました「愛知県史別編文化財1建造物・史跡」には、本市に残る戦争遺跡として6か所掲載されております。これらの現状について本市はどのように把握しているのか伺います。

### 〈経済文化部長〉

愛知県史に採用されております市指定文化財の陶製梵鐘など3か所につきましては所在及び状況を把握しておりますが、付録の戦争遺跡地図に記されている3か所の防空壕につきましては所在を把握できておりません。

〈原誠議員〉

まだ、詳細を把握できていないということと、今基礎調査が終わったというところで、県の方としては現地調査に入っているのかどうか再質問します。

〈文化課長〉

現在基礎調査のもとに県内の戦争遺跡について現況調査が実施されておりまして本年度末に調査報告書が刊行される予定でございます。

〈原誠議員〉

実は3か所防空壕があるということですが、私も詳しい場所はわからないのですが、3か所すべてが幡山地域本地・菱野地区にあるということ、そのうちの1か所が民間の方の調査でもうすでに開発でなくなつてしまっているということです。県の調査が済み次第速やかに公表していただきたいと思えます。

小項目3に移ります。

上水野町に愛知航空機株式会社瀬戸工場跡というのがあります。これについては瀬戸市史や副読本「あたらしい瀬戸」にも掲載されており、瀬戸市史には、「こうした遺跡の保存とそのもつ意味を説明していくことは今日の我々が後世に歴史を伝えていく上で果たしていかなければならない責務である」と記述されています。現在、民間の保存会が結成をされて保存活動が行われていますが、崩落や陥没などもあり

荒廃が進んでいる個所もございます。市として今後、どのように保存・継承を考えているのか伺います。

〈経済文化部長〉

愛知航空機株式会社瀬戸工場跡につきましては瀬戸市文化財文化遺産マップや瀬戸市歴史文化ガイドブックにおいても戦争遺跡として掲載しておりますが、市として具体的な保存計画はございません。

〈原誠議員〉

市の土地ではないというのが理由であると聞いておりますが、私も先日、保存会の方に案内されてこの瀬戸工場跡に行かさせてもらいましたが、崩落している個所がかなり多いということで、これを保存していくという意味は大事なことだと思えますが、今後、なんとかしてきちんと保存をしていけるようにしたいなと思っております。

小項目4に移ります。

本市における戦争遺跡のうち法雲寺の陶製梵鐘については瀬戸市指定有形文化財になっていますが、瀬戸工場跡についても指定を行うべきと考えていますが、見解を伺います。

〈経済文化部長〉

瀬戸工場跡につきましては、土地の所有が国有地と民有地であるため文化財指定の予定はございません。

〈原誠議員〉

そこらへんは土地の所有の問題もありますが、これはみんなで知恵を練って考えていくべきだと考えております。

小項目5に移ります。

瀬戸蔵ミュージアムでは常設で戦時中に作成された陶製の代用品や陶貨などを展示しております。戦争に翻弄された瀬戸焼に歴史がわかる展示だと思います。そこで企画展でいいと思うのですが戦争遺跡の紹介だとか戦争の記憶を伝えるような企画展を行うべきだと思うのですが、その点について見解をお伺いします。

〈経済文化部長〉

瀬戸蔵ミュージアムは瀬戸焼をテーマとする博物館であるため一般的な戦争の資料は展示しておりませんが戦時中に焼き物で作られました多種多様な代用品を展示しており、これらの展示を通して戦争の記憶を伝えてまいります。

〈原誠議員〉

昨日の同僚議員の質問にもありました、毎年8月の時期にはやはりこう言った戦争遺跡の紹介や戦争を伝える企画展は大切なことだと思いますので、検討の方、よろしく願います。

次に小項目6に移ります。

今年総人口に占める戦後生まれの割合が約9割となり戦争体験などの記憶の継承が課題となっております。本市では1995年戦後50年の年に記念時事業を



施して終戦50周年記念文集を作成しております。こうした文集をはじめ市内の戦争遺跡の状況や戦時下の暮らしの実態を伝え後世に継承していく必要があると考えますが見解をお伺いします。

### 〈企画部長〉

戦争の悲惨さや平和の尊さを後世に継承していくことは平和行政を進めるうえでも重要であると認識しております。今後とも平和都市推進パネル展などを通して、とくに若い世代が戦争の歴史に触れ平和について考える機会を設けていきたいと考えております。

### 〈原誠議員〉

「戦争を知っている世代が社会の中核にある間はいいが戦争を知らない世代ばかりになると日本は怖いことになる」と田中角栄元総理の言葉なんです。今の日本は戦争を知らない世代がたくさん増えて角さんが危惧をした通りの状況になっていくのかなと感じております。私も毎年、戦没者慰霊式典に参加していますが、前から参加している方に聞いたんですが、以前は瀬戸蔵つばきホールが満席になっていたのが、近年はだんだんと空席が目立ち、戦没者の配偶者もほとんどいなくなり。戦争体験者が減っているのがわかります。遺族会の会長挨拶もこうした現状の危機感を反映したものになっています。本市は4年後には市政100周年を迎えます。まだ

下の表は2006年刊行の「愛知県史別編文化財1 建造物・史跡」に記されている瀬戸市の戦争遺跡6か所です。私たちが確認したところによると98と99の防空壕はすでに消滅しています。下の市長の回答は一昨年11月に市長名での戦跡保存に対する質問の回答です。(寺脇)

100周年記念事業の具体的な内容は決まっていらないと聞いていますが、100周年の本市のあゆみを考えるとき戦争の歴史をさけて通ることはできないと思います。100周年記念事業に向けて戦争体験者の話を聞き戦時中の暮らしや戦争体験などのデジタル化なども行いながら二度と戦争を繰り返さないために後世に伝えていく。人間の寿命には限界があります。終戦90周年の10年後には、ほとんどの100周年に向けて速やかに行っていくべきことを申し上げて次の大項目に移ります。(以上)

地図の番号	遺跡	所在地	内容
96	愛知航空機(株)瀬戸工場	瀬戸市上水野町	コンクリート造隧道入り口5こ以上、コンクリート造水槽
97	法雲寺の梵鐘代替品	深川町	昭和17年10月造陶製高さ115cm直径79cm、市指定文化財
98	東本地町の防空壕	東本地町	幅1m高さ1.2m長さ6.7m
99	新田町の防空壕	新田町97	庭先丘下に幅0.7m横穴2本
100	幡中町の防空壕	幡中町	幅0.6~0.9m高さ1.5m横穴5本
101	掛下町の防空壕	掛下町	幅1m高さ1.8m長さ10m

質問:市内6か所の戦跡の保存についての見解

24年11月17日付で会の質問に対する市長の回答

## 川本雅之瀬戸市長名での回答 (11月17日)

### ・番号96 (愛知航空機(株)瀬戸工場)

国や愛知県と協議を行い検討していくものと考えております。

### ・番号97 (法雲寺の梵鐘代替品)

平成9年瀬戸市指定有形文化財(歴史資料)となって以降市文化財保護条例による保存対象でありますので、所有者様とともに瀬戸市はその保存・継承について今後とも尽力してまいります。

### ・番号98~101 (防空壕)

陥没等の危険性があり、土地所有者様が希望する場合は維持管理課が閉塞等の対策をいたしますが、存置する場合は土地所有者の管理と考えております。

# 戦災・空襲記録づくり第41回東海交流会



12月14日(日)ピースあいちで恒例の戦災・空襲記録づくり東海交流会が開かれました。参加人数は39人(会場33ズーム6)で特別報告3、地域報告7でした。

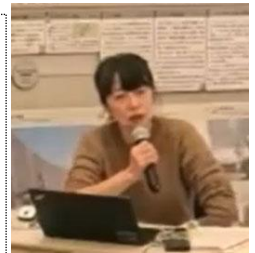
参加者所属団体は20団体でした。今年は、保存する会に関係される2名の方(榎村さん、山田さん)の特別報告もあり、大変興味深い内容でした。ただ2025年は、半田の佐藤明夫さん、岐阜の篠崎喜樹さんと東海地方の戦災空襲の記録づくりのリーダー的存在であった、お二人がお亡くなりになり、お二人のご冥福をお祈りするとともに私たちに託された責任の重さを感じた交流会でした。

寺脇

## 社会調査実習を通した戦争体験学習 —愛知大学社会学専攻の事例から

## 榎村愛子さん(愛知大学)

- ・2015年に「東三河における戦争体験」と題して社会調査実習をツールにして戦争体験の聞き取りを中心に研究結果を発表。
- ・2025年は愛知県や三重県の活動や豊橋地域の平和に関わる活動にも取材し調査を行った。
- ・学生は戦争に関して興味はあるものの自ら討論することには消極的。
- ・活動の継承については図書館などの地域の施設に記録が残っていれば継続は可能であると思われる。



## 身近で見つけた陸軍の地下壕 —岐阜県各務原市の大安寺地下壕(西壕)

## 山田富久さん(戦争遺跡探し隊)



- ・各務ヶ原大安寺に1945年4月に掘られた地下壕(東壕)は以前より知られており、伊藤厚史氏の調査も残っているが、今年、地域の方々の証言から別の壕の存在を知り、探索を行った結果、新たな地下壕(西壕)を発見した。全長は400m以上にもわたり目の字型で内部にはコンクリートの部分が2か所残っている。
- ・西と東の壕の間の谷合にガスマスクやビール瓶、陸軍の食器などが散乱していた。・奈良県の「どんづるぼう」の地下壕と関連がありそう。

## ピースあいち企画展;沖縄展における新たな取り組み —映像の活用

## 牧野修三さん(ピースあいち)

- ・「ピースあいち」にある膨大な負の遺産の中で証言DVDを館内で気軽に見られるように閲覧システムの開発を行った。
- ・パネルタッチでそれぞれの証言者の動画が見れるようになっている。
- ・企画展の沖縄展では証言映像や「基地のある日常」を伝える映像をグーグルアースや米国防衛省のサイトなども活用した。





## 「戦争遺跡に平和を学ぶ亀山の会活動報告」

- ・亀山市との協働事業を 2020 年から行っており、亀山市の戦跡マップを完成した。
- ・列車銃撃地の説明板を亀山市が作成。
- ・地下壕を中心に「亀山生物多様性共生区域」にもなっている。
- ・26 年は関の地下工場の内部調査を行う予定。

- ・敦賀市のケーブルテレビ局が戦災企画放送
- ・敦賀市民歴史講座と展示
- ・敦賀戦災犠牲者法要 7 月 12 日 220 名の慰霊碑
- ・「福井と敦賀の空襲を語り継ぐ展示とつどい」
- ・東洋紡「模擬原爆」犠牲者法要 8 月 8 日
- ・敦賀空襲の展示 8 月 23 日 他

## 「敦賀空襲から80年」

## 「2024瀬戸地下軍需工場跡を保存する会活動報告」

- ・1 月には現地見学
- ・3 月には関ヶ原玉の火薬庫見学
- ・愛知大学生に名簿作成でエクセル入力作業を依頼。2500 名分の氏名住所を入力していただく。
- ・市内主要団体長ならびに市議会議員に戦跡保存の見解を聞く。

- ・岐阜市制作「岐阜空襲 80 年平和動画」に出演・協力、YouTube で閲覧可能
- ・篠崎喜樹さんがお亡くなりになり「記録する会」を再編成。
- ・平和資料室で「戦時の新聞から見る空襲前後の岐阜市民」展を行った。米軍資料との対比が興味深い。
- ・学校関係他の講座・講演会は 17 講座開催。「平和の鐘」式典等開催に協力。

## 半田空襲と戦争を記録する会)

- ・8 月に佐藤明夫さんがお亡くなりになった。後日、お別れ会を行う予定。
- ・佐藤さんは全国の学徒動員の記録をされただけでなく半田市で犠牲になった朝鮮人徴用工たちの本名を聞き出されて記載されている。
- ・半田市平和資料室を作る会の活動にも尽力された。

## 「岐阜空襲を記録する会令和7年活動報告」

- ・2024 年 5 月末に平和地蔵尊が撤去される予定と聞き、急遽本会を立ち上げて活動を始めた。その成果で愛知時計は地蔵尊は撤去せず安全対策を施し再設置した。
- ・玄関前にあるのは殉国地蔵。
- ・愛知時計は朝鮮戦争でも爆弾の信管を制作した。

## 「37年目の空襲体験戦争体験を語りつぐつどい」

- ・参加者 40 名 10 代から 90 代まで
- ・現役自衛官【21 歳】参加
- ・夏休みの自由研究で大垣空襲を取り上げた中学生参加。
- ・体験・証言集続編を発行予定。

## 熱田空襲遺跡を守る有志の会

### ピースあいち宮原 館長

- ・発表は多岐にわたりたいへん充実した内容だった。
- ・ピース愛知では「語り継ぐ私の戦争体験 第5集」を発行した。

## 写真で観る晴嵐 28 号機修復の全貌 第 22 話

愛知航空機研究家・渡辺哲国

### 「イー400型潜水艦開発&作戦経緯 2/2」

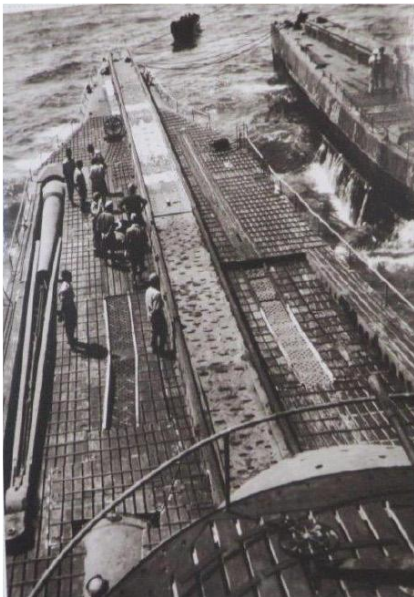
#### 嵐作戦

7月23日、嵐作戦が発令されイ-400、イ-401の2艦は別々に大湊港を出港し、別ルートをとって第1会合海域に向かった。作戦計画では、8月14日の日没前にボナペ島南方100哩地点での会合が予定されていた。しかし、米海軍の哨戒線を避けての航海および、艦の配電盤火災により遅れを生じたイ-400は直接第2会合点に向かった。また、無線連絡もとれなかったため、予定時刻に第1会合点に到達できたのはイ-401のみであった。そのため、イー401はかねてからの打ち合わせ通り、第2会合点のウルシー環礁南方海域に向かった。

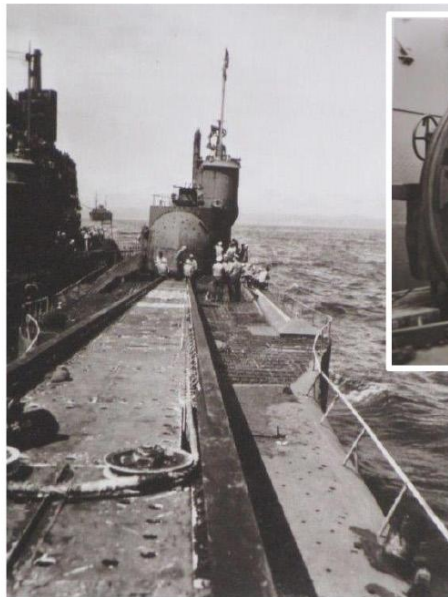
嵐作戦の攻撃時期は8月17日未明が予定されて

おり、その攻撃要領は晴嵐6機での800kg爆弾による特別攻撃とされ、神龍特別攻撃隊と命名されていた。(出港前に隊員には特別攻撃を意味する白鞘の短刀が授与されていた。)

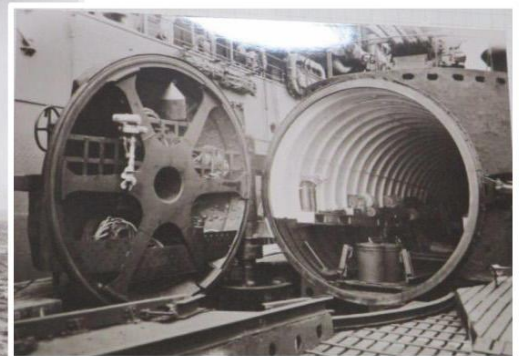
8月15日、両艦は内地からの緊急電を受信した。その内容は日本の無条件降伏であった。艦内は混乱し、徹底抗戦や自沈の意見が対立した。翌、16日、即時戦闘行動の停止と帰港命令を受信した艦長は対策会議を開き、祖国再建を説き、軽率な活動を戒め、一路、本土への回航を決定した。回航の途中、軍機(極秘)の晴嵐は浮舟(フロート)を装着せず、翼を畳んだままカタパルトから射出され、太平洋の海底に葬られた。 次号へつづく



② 敗戦後横須賀港に帰港し米潜水母艦に接舷したイー400とイー14  
(米国国立公文書館所蔵)



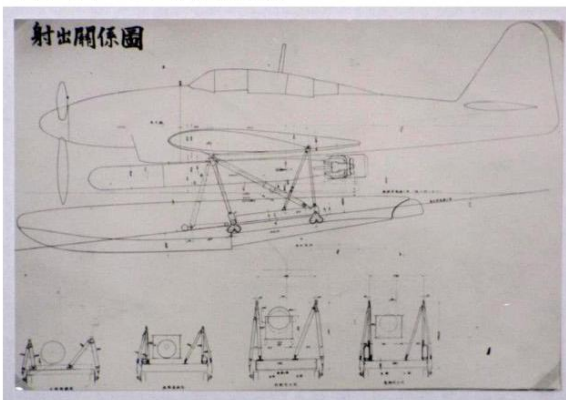
③ カタパルト・4式1号射出機 10 型



④ イー400格納筒と水密扉



⑤ 相模湾に帰投したイー401



⑥ 晴嵐射出関係図



⑦ 晴嵐搭載品と重心関係図



①イー400型潜水艦開発 & 作戦経緯要約2/2

by T.Watanabe

参考文献：佐藤次男著「幻の潜水空母」

年 月	内 容
S20/04	<p><b>沖縄戦</b></p> <p>* パナマ運河攻撃の図上演習（呉）、攻撃閘門、要領、兵器などの結論です。</p> <p>04/02 631空 福山空に基地を移動、 晴嵐 1 2 ～ 1 3 機</p> <p>04/11 イ-401呉出港、港外にて座礁するも離礁に成功</p> <p>04/12 イ-401伊予灘の姫島灯台の37度750mにて触雷、呉に戻り修理</p> <p>04/14 イ-400呉出港 04/20 大連着、燃料搭載 04/23 大連出港 04/27 呉入港</p>
S20/06	<p>06/01 イ-401呉出港</p> <p>06/02 イ-400呉出港</p> <p>06/03 イー 1 4 晴嵐 2 機揚収、合同訓練開始</p> <p>06/04 イ-401七尾湾入港、訓練に従事</p> <p>06/05 イ-400七尾湾入港、訓練に従事</p> <p>06/05 第 1 潜水隊 4 艦七尾湾に集結、（イー 1 3, 1 4, 4 0 0, 4 0 1）</p> <p>06/06 第 1 潜水隊と 6 3 1 空のパナマ運河攻撃総合訓練開始（緩降下爆撃）</p> <p>* 06/13 江上益男大尉、木本久義飛曹長 愛知から七尾湾に晴嵐空輸中、墜落即死</p> <p>* 06/19 岸康夫大尉、津田武司上飛曹 富山湾上空にて訓練中行方不明、殉職</p> <p>06/25 光作戦（トラック島へ彩雲 4 機輸送、イー 1 3, 1 4）発令</p> <p>作戦終了後香港に回航、次期作戦準備</p> <p>嵐作戦（ウルシーの敵機動部隊を奇襲攻撃、イー 4 0 0, 4 0 1）</p> <p>攻撃後シンガポールに回航、次期作戦準備</p> <p>6 3 1 空は晴嵐 1 0 機を香港、シンガポールに空輸の準備</p>
S20/07	<p>07/11 イー 1 3 大湊港から出撃</p> <p>07/13 イ-400七尾湾出港</p> <p>舞鶴入港、補給</p> <p>07/13 イ-401七尾湾出港、舞鶴入港、補給</p> <p>07/16 イー 1 3 撃沈される？</p> <p>07/17 イー 1 4 大湊港から出撃</p> <p>07/20 イ-401舞鶴出港</p> <p>07/20イ-400 舞鶴出港</p> <p>07/21 イ-401大湊入港</p> <p>07/22 イ-400大湊入港</p> <p>07/23 イ-400大湊出港、ウルシー攻撃に向かう。</p> <p>07/23 イ-401大湊出港、ウルシー攻撃（嵐作戦）に向かう。</p>
S20/08	<p>08/04 イー 1 4 トラック島到着、彩雲 2 機補給</p> <p><b>08/15 敗戦</b>、イ-400反転して内地に向かう。</p> <p>08/15 イ-401敗戦を知る、イ-400と会合できず、反転し内地に向かう</p> <p>08/29 イ-400東京の北東500カイリにて、米艦ブルーに捕獲される。</p> <p>08/29 イ-401三陸沖にて米潜水艦セグンドに捕獲される。</p> <p>08/30 イ-400横須賀入港、米潜水母艦プロテウスに横付け</p> <p>08/30 イ-401第 1 潜水隊司令官有泉龍之介大佐自決</p> <p>08/31 イ-401横須賀入港、米潜水母艦プロテウスに横付け</p>
S20/09	<p>09/15 イ-401除籍</p> <p>09/15 イ-400除籍</p>
S20/10	<p>イ-400横須賀より佐世保に回航</p> <p>イ-401横須賀より佐世保に回航</p>
S21/01	<p>イ-400米国に向け佐世保出港</p> <p>イ-401米国に向け佐世保出港</p>
S21/05	<p>05/31イ-401米国海軍の調査、研究、実験後ハワイ近海にて爆沈</p>
S21/06	<p>06/04 イ-400米国海軍の調査、研究、実験後ハワイ近海にて爆沈</p>

# 第5回愛知航空機研究会「幻の人間爆弾『桜花43乙』開発の実態」



第5回 愛知航空機研究会（愛航研）「幻の人間爆弾『桜花43乙』開発の実態」が10月11日（土）瀬戸市文化センター12会議室で行われました。参加者19名で講演者は愛知航空機研究家・瀬戸地下軍需工場跡を保存する会代表渡辺哲国さんと嵯峨田宗博さん。必要経費を除いて参加費残金5000円分を渡辺さんがユニセフに募金されました。

## 樫村さんの感想：フェイスブックより

瀬戸地下軍需工場を保存する会。愛知航空機が開発した桜花（特攻）の話がテーマ。カタパルトというのも初めて学ぶ（飛行機を飛ばすためのレール）。11から43までの開発の中、初のジェットエンジンを開発していたこと。設計者としてもこんなものを作ることへの最初の葛藤があったことが語られていました（この文章の中で）。映像でアメリカの博物館での本体を見ましたが、細くて実は形はとても美しかった。結局、量産したのは11で300機くらい作り（最後は飛行機はこればかり作っていた。愛知で）、壕に隠していた。本土決戦？に備えて一気にたたき奇襲作戦の一環だった？



## 編集後記



元旦は風もなくていいへんおだやかで美しい初日の出を拝むことができました。しかし世情はどうみても穏やかとは言えず、庶民は苦しい一年をまた過ごしてしまいそうです。

苦しくとも平和で安全なのが一番なんですが、風向きは安穏としてられない状況です。いずれにしても戦後80年が過ぎ新たな戦前になってしまわないように願うばかりです。

2026 年 1 月 1 日 (T)

## 笑話?



昨年10月、陸上競技場北の深さ3m以上ある陥没穴周辺に設置されていた看板（左）が老朽化したのか新しい看板（上）に代わっていました。付近は雑木林でじやりの地面ですが・・・